



犀陵だより

第四号 平成23年6月24日

校長講話 「勝敗とは別の素晴らしいもの」



今日は市中大会に関して話をします。

4月からそれぞれの部で一生懸命練習に励んでいました。「よし勝つぞ」「是非勝って次の大会に参加したい」そんな思いで取り組んできたと思います。勝ちたいという気持ちは大切です。スポーツのような場面では、これを目標に一生懸命取り組みます。

どのチームもお互いに中学生です。厳しい練習をやっていることでしょう。勝つことを目標にすることも大切です。そして、勝った時に目標を達成し喜び合うことができます。

しかし、勝負は勝ちがあれば負けもあります。どんなに一生懸命やっても勝ち続けることはありません。一つ勝ったということは、一つの負けがあるということで、それが物の道理です。勝ち続けていくことはできません。では、負けてしまったら無意味なのでしょうか。そうではないと思います。勝つために行った練習、辞めたいと思ったことがあっても忍耐をもって乗り越えた自分、友達につながりを持った自分、仲間と頑張り合えた自分、思いをかけて練習してきたことは決して無意味ではないと思います。

今回の大会でも、勝敗とは別に素晴らしい場面をいくつか見ました。テニスの会場で怪我した生徒に付き添い、「大丈夫ですか」と声をかけていた良い関係。バスケの試合で、ボールが顔に当たり、落ちてしまったコンタクトレンズを、相手の選手も一緒になって床に顔をつけるようにして探していた姿。サッカーで、1-2で負けていてキーパーも負傷して交替していた。しかし、ベンチも応援もよく声を出し応援し、最後に同点に追いつき、次の大会への進出を決めた。応援の人たちは躍り上がるように喜び拍手をし、とてもいい顔をしていました。

世の中には勝ち負けとは別の次元の価値あるものがあります。力になるもの、意味あるものがあります。失敗したことすら意味あるものになります。

大会のあった6月11,12日は東北関東大震災、長野県北部地震からちょうど三か月の日でした。今でも9万人近い人達が被災し、苦しい生活を余儀なくされています。日々状況は悪くなっています。中学生が大会も開かれずに生活しているというように聞きます。勝負に向かい一生懸命泣いたり笑ったりできたこと、これは感謝だと思います。

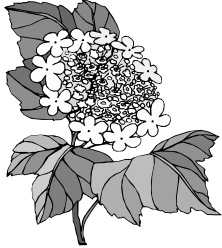


体と心のケアを大切に

例年になく早い入梅で、突然のしゅう雨に見舞われたり、雷が発生するなど不安定な天候の日が多くなっています。また、真夏のような暑さになったり、急に気温が下がったりと体調管理も大変な時期を迎えています。大会が続き、テストも近づいてきています。ベストの体調でこれらに臨めるようにしたいものです。

体の疲れが溜まると、心にも影響を及ぼします。不安なことや困ったことがある場合には、学校では、養護教諭、相談室の職員、担任や副任、教頭などを初めとしてだれでも話しやすい職員に相談するように生徒には話しています。ご家庭でも気になることありましたらご相談下さい。学校職員も生徒が安心して安全に生活できるように、校舎内外の点検、セクハラやパワハラの研修、綱紀肅正についての取り組みなども行なっています。

7月8日(金)には地区別懇談会を計画しておりますので、大勢ご参加下さい。お気づきのことやご要望などありましたらお話下さい。



7月の予定

- 1日(金) 期末テスト
- 3日(日) 県陸上
- 5日(火) 生徒集会、生徒会 PTA 常任・評議員会
- 8日(金) 地区別懇談会
- 10日(日) 相撲県大会
- 11日(月)・12日(火) 1年戸隠宿泊学習
- 14日(木) 学校保健委員会
- 15日(金) 県大会壮行会 学校評議員会
- 16日(土)～18日(月) 県大会
- 21日(木) 音楽集会 地区生徒会
- 22日(金) 1学期終業式 北信越大会・合唱・吹奏楽壮行会
- 23日(土)～8月18日(木) 夏休み
- 25日(月) 2年職場体験学習 1・3年登校日
- 1年家庭訪問・3年保護者懇談会(～28日)
- 29日(金) 地域ボランティアの日
- 30日(土) 吹奏楽北信大会

